

改革なくして成長なし

変わる日本

この一歩から

改革工程表が示す日本経済の道筋



「改革工程表」は小泉改革の航海図

"Without reforms, no gains."

「改革なくして成長なし」

さる6月、政府は、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」（いわゆる「骨太方針」）を閣議決定し、21世紀において日本が目指すべき新たな経済社会の姿とそのための基本方針を明らかにしました。

今回、骨太方針を具体化し、さらに改革を加速するために、各大臣の協力を得て、経済財政諮問会議において、日本の構造改革を進めるための道筋（いわゆる「改革工程表」）をまとめました。これは、骨太方針の中でお示しした7つの改革プログラムに基づき、政策手段及び実施時期を示したもので、いわば、「小泉改革の航海図」ともいうべきものです。

政府は、自らが課した責務として、この航海図に従い、断固たる決意で構造改革に取り組みます。

小泉純一郎

「改革工程表」の先にある経済社会

"Japanese, be ambitious!"

「大きな志を取り戻そう！」

骨太方針の決定後、タウンミーティング等多くの機会をとらえて、小泉改革についてご説明してきました。その際、国民の皆様から寄せられた質問の中に、「小泉改革の先にはどういう経済社会があるのか」、「7つのプログラムを実行するとどうなるのか」というものが多く寄せられました。

私たちが今進めている構造改革は、経済社会の環境変化に柔軟に対応できる適応力と発展への活力をもった経済社会にしていくために、どうしてもやり遂げなければならないものです。その一方で、企業にも、国民生活にも大きな変化をもたらします。しかしながら、痛みを怖れて身も心も萎縮してしまうことこそ、最も恐れるべき我が国の活力喪失の事態です。

政府は、経済社会の仕組みを迅速果敢に変える一方で、失業などの痛みに対して万全のセーフティ・ネットを講じます。また、我々が目指す共助の社会は、他人の痛みを共に感じられる頼もしい社会です。構造改革を通じて、国民一人一人に、はつらつとした気力と知恵がみなぎり、思いやりのある社会が実現されます。

そのような21世紀の新たな日本の姿について、私なりの考え方をお示しし、国民の共感と賛同を得、変化のために、ともに前進したいと考えます。

竹中平蔵

今までの日本

骨太の方針

(7つのプログラム)

- 民営化・規制改革
- チャレンジャー支援
- 保険機能強化
- 知的資産倍増
- 生活維新
- 地方自立・活性化
- 財政改革

具体化・加速化

改革工程表

これからの日本

改革工程表は改革の道筋を示します。

7つのプログラムにわけて改革を進めていきます。

1. 経済・財政の構造を改革します。

- (1) 民間が自由に経済活動を行える形に
- (2) 国債利払いの多い社会システムを
- (3) 支拂比率のさらさら削減に向けた

2. 行政の構造を改革します。

- (1) 役割分担を根本的に見直し、地方ができることは地方に

3. 社会の構造を改革します。

- (1) 国民の「安心」と生活の「安全」のある社会に
- (2) 人材大国と科学技術創造国に
- (3) のびのびと働き生きることができる社会に

これからの日本の姿

- 国民が自信と誇りに満ち、努力するものが夢と希望をもって活躍する社会
- 市場のルールと社会正義が実現される社会
- 誰もが豊かな自然と共生し、安全で安心に暮らせる社会
- 世界に開かれ、外国人にとっても魅力ある社会

現在の日本の姿

- 経済社会の先行きに対する深い閉塞感、高齢化の進展と労働力人口の減少の中での悲観論
- 企業・産業の過剰債務や非効率性、高コスト構造、横並び体質等
- 地域の個性や活力が失われがち
- 社会保障分野への「ムダがある」、「負担が不公平」などといった指摘がみられる

1

2

3

4

5

6

7

保険機能強化

知的生産の増進

生活革新

社会政策の充実

財政改革